

学校評価について 教務主任

日頃より本校の教育活動についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。12月に行いました学校評価の集計結果をお知らせいたします。ご多用の中、学校評価アンケートに多数のご協力いただきまして、ありがとうございました。

平成 28 年度2学期 学校評価アンケート集計結果

西東京市立保谷小学校

家庭数: 395 家庭 | 回答数: 377 家庭 | 回収率 95.4%

□ そう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない
 □ まったくそう思わない ■ 無回答

質問	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
1 本校の教育目標を知っている。	32%	50%	15%	2%	
2 学校からの通信には、目を通す。	75%	23%	2%		
3 学校の学習環境は良く整備されている。	46%	50%	4%	0%	
4 通信（含ホームページ）の内容はわかりやすい。	36%	57%	7%	1%	
5 学校公開・行事等は、よく参観する。	28%	56%	15%	1%	
6 学校公開・行事等の内容は、充実している。	41%	59%	4%	1%	
7 教科指導が、準備や工夫して行われている。	37%	58%	6%		
8 学校が熱意をもって、学習指導している。	45%	51%	5%	0%	
9 自分の児童の学力は、定着している。	22%	69%	12%	2%	
10 児童の体力を育てる指導が行われている。	25%	59%	15%	1%	
11 健康指導・食育指導が行われている。	33%	53%	14%	0%	
12 安全に対する指導が行われている。	31%	57%	12%	1%	
13 児童の心を育てる指導が行われている。	27%	62%	10%	1%	
14 いじめをなくす取組が行われている。	18%	53%	26%	3%	
15 児童が豊かな体験的活動をしている。	41%	51%	7%	1%	
16 児童とは、学校の話をよくする。	57%	37%	6%	1%	
17 児童は、学校での生活に満足している。	46%	47%	7%	0%	
18 気になることはすぐに学校に相談できる。	35%	46%	16%	3%	
19 相談したときに、すぐに対応してくれる。	39%	53%	12%	2%	
20 災害・防犯対策などの対応ができています。	31%	63%	5%	1%	

集計結果より

◎アンケート結果を受けて各学年の取り組みと改善案 (各学年の結果の中で、肯定的評価の少なかった順3項目について)

学年	項目番号	取組 と 改善案
1	14	道徳、学活、生活指導で、いじめという言葉を使用しながら、根絶について繰り返し指導する。学校で行った取組を保護者に伝える。引き続き、子供と保護者と教員と情報共有し合える関係性を築く。
	11	学年だよりに、給食目標を掲載したり、食育指導、健康指導の内容を掲載したりすることで、保護者への周知を図る。子供には朝の会、学級活動、給食指導を通し、健康指導・食育指導の回数を増やす。
	15	保護者会や、学年だよりでどんなことでも相談してくださいと呼びかける。個人面談期間以外でも、必要に応じ面談、電話ができることをお知らせする。
2	14	保護者会等において、学年児童の実態や指導内容について、保護者に周知していく。児童には、日頃の教育活動からいじめはいけないという指導を徹底していく。
	18	保護者の不安や疑問に対して、丁寧に対応するよう心がける。不安、疑問等は担任に連絡していただきたいことを保護者会や個人面談などで伝えていく。
	12	保護者会、学年便り等で安全に関する話題を取り上げ、日々指導していることを伝えていく。保護者がどのような内容に不安をもっているのかを保護者会や面談で聞き取り、指導に生かしていく。
3	10	業間体育や保谷オリンピックなどの体力に関する実践について、学校便りや学年便りなどで周知していく。休み時間には、基本的に全員外遊びとする。体力がつく遊びを紹介していく。体育などで様々な運動を経験させる。
	9	学習規律の徹底(次の学習の用意・家庭学習の習慣・授業態度など)を図る。分かるまで繰り返し、時間を取って指導する。
	14	学級及び学年指導などで行っているいじめに対する取組を保護者にも明確に伝わるように学年便りや保護者会等で伝えていく。学年・学級で人権問題について話し合うことで児童の人権意識を高める。
4	14	道徳の授業や学級指導で、指導を継続していく。月初めに、いじめ防止を啓発する標語等を考え、掲示する。
	18	継続して①保護者会等で「いつでも相談できる」ということをお知らせしていく。②気になることや心配なことがあれば、小さなことでも気軽に連絡してもらうように働きかける。
	19	すぐに連絡をとり、面談を行う等して個別にコミュニケーションをとる。日頃の連絡帳や電話、面談等の相談について、丁寧に対応していく。
5	14	いじめを起こさない取組について、日々の指導や道徳での取組の様子を、具体的な事例を示しながら、保護者会等で伝えていく。
	18	保護者会を中心に、児童の様子で気になることがあれば、気軽に相談できる雰囲気作りを心がけていく。
	19	相談に対する対応に遅れが無いよう、相談があった場合は迅速に、熟慮しながら対応していく。
6	14	いじめを起こさない取組について、日々の指導や道徳での取り組みの様子を、具体的な事例を示しながら、保護者会等で伝えていく。
	10	体力の高まりを感じられるような記録や学習カード等を使った振り返りを行う。体を動かすことへの意欲を高める(外遊びへの意欲向上)。業間体育や体力テストの内容やそれらを行う意義等について、児童や保護者に周知していく。
	18	日頃の連絡帳や電話、面談等の相談について、丁寧に対応していく。学年だよりや保護者会にて、スクールカウンセラーについて伝えていく。

本校の第2回目学校評価アンケート(12月)は、95.4%の家庭の皆様からご回答をいただきました。今回の評価項目全体の肯定的評価(そう思う・ややそう思う)は89.2%【前回(6月)比6.6%上昇】でした。ご協力ありがとうございました。

この結果を受け、肯定評価の低かった項目の分析を行い、どのような取組が効果的かを検討しました。3学期以降、また来年度に向けてしっかりと実践していきたいと考えております。

今後とも、家庭・地域・学校との協力・連携を大切にして学校運営を進めていきますので、ご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。